

科目名	長期インターンシップ	英文表記	Long Term Internship	2012/4/1				
科目コード	6021							
教員名:池松真也・山城秀之 技術職員名:無し				作成				
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
創造システム工学専攻・生物資源工学コース		専1	選択	履修	4単位	実習	集中講義	
科目目標	企業等, 実際の現場で長期の業務を積むことにより, 実践的な技術力を身につけるとともに, 実社会に必要な素養・協調性を身につけることを目標とする。							
総合評価	研修報告表(20%), 研修報告(80%)で評価し, 60%以上を合格とする。							
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法				
	①	実際の現場で長期にわたって業務を体験することで, 実践的な技術を理解する。(A-1,A-3)			⇒	報告書の内容と面談で評価する。		
	②	社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(B-1,B-2, B-3)			⇒	報告書の内容と面談で評価する。		
	③	共同研究や受託研究を通して, 研究開発の意義を学び, 遂行することができる。(C-1,C-2)			⇒	報告書の内容と面談で評価する。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学		
			○	◎	JABEEプログラム教育目標	A-1,A-3,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2		
授業概要、方針、履修上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、単位時間が160時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等を課すことによって時間を満たす。							
教科書・教材	企業作成資料, 教員作成資料							
授 業 計 画								
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容	
1	ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスする					
2	インターンシップ先企業研究	9	企業等調査, マッチング				企業等調査	
3	インターンシップ	160	約1ヶ月程度企業研修を実施する				課題項目等	
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書を作成し, 提出する。					
学習時間合計		180	実時間				150	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)							標準的所用時間(試行)	
①								
②								
③								
備考欄								

・ この科目はJABEE対応科目である。この科目の主たる関連科目は、インターンシップ(3年)、グローバルインターンシップ(専1,2年)である。